NCGG-RI 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

呼吸器の加齢性変化における細胞老化

老化細胞研究プロジェクトチーム 杉本 昌隆 プロジェクトリーダー

2015年9月8日(火) 16時00分~ 第1研究棟2階大会議室

ヒトを含む哺乳動物では、加齢とともに様々な組織の機能が低下するが、その原因等、実態は不明な点が多い。老化細胞研究プロジェクトチームでは、細胞レベルでの老化の観点から、加齢現象の解明を目指している。

生体において細胞老化を起こした細胞(老化細胞)は、加齢とともに様々な組織で蓄積することが知られている。しかしながら加齢に伴う生体機能の変化に、老化細胞がどの様な役割を持つのかについては不明であった。近年、老化細胞がSASP (senescence-associated secretory phenotype) を介し、非細胞自律的に組織機能に影響を及ぼすことが指摘され、組織老化と細胞老化の関係が改めて注目を集めている。

老化細胞研究プロジェクトチームでは5年間、細胞老化のメカニズムと生理機能について研究を行ってきた。特に最近では、呼吸器の加齢性変化における老化細胞の役割に着目し、モデルマウスを用いて解析を進めてきた。本報告会では、我々が樹立したモデルマウスから得られた知見について紹介し、今後の展望についても議論したい。

座長:池田 恭治